**覚　書【参考例】**

株式会社●●●●●●●（以下「甲」という。）および株式会社●●●●●●●（以下「乙」という。）とは、甲乙間で●●●●年●●月●●日付にて締結した●●●●●●●契約書（以下「原契約」という。）につき、以下の通り変更することに合意する。

【共通】

第1条

　　本覚書の有効期間は、●●●●年●●月●●日から●●●●年●●月●●日までとする。なお、甲および乙が誠意をもって協議することにより、当該期間を延長することができるものする。この場合、甲乙間で別途契約を締結する。

【賃料・共益費の減額】

第●条　原契約第●条に規定される賃料および共益費を、本覚書の有効期間中は以下の通りに変更（減額）する。

　　（変更前）

　　　賃　料：月額●●●●●●●円（消費税別）

　共益費：月額●●●●●●●円（消費税別）

（変更後）

　　　賃　料：月額●●●●●●●円（消費税別）

　共益費：月額●●●●●●●円（消費税別）

【代金・報酬の減額】

第●条　原契約第●条に規定される代金額（or月額報酬額）を、本覚書の有効期間中は以下の通りに変更（減額）する。

　　（変更前）

　　　●●●●●●●円（消費税別）

（変更後）

　　　●●●●●●●円（消費税別）

【支払の延期】

第●条　原契約第●条第●項を以下の通り変更する。

　　（変更前）乙は甲に対して、２０２０年（令和２年）５月３１日までに、代金（or報酬）を支払う。

　　（変更後）乙は甲に対して、２０２０年（令和２年）８月３１日までに、代金（or報酬）を支払う。

【共通】

第●条　本覚書に定めなき事項および本覚書の各条項の解釈に疑義があるときは、原契約に基づくほか、甲および乙が誠意をもって協議検討の上、決定する。

本覚書成立の証として本書を２通作成し、甲乙記名押印の上、各１通を保有する。

２０２０年●●月●●日

|  |  |
| --- | --- |
| 甲：  埼玉県●●市●●町●－●－●  ●●●●●●●株式会社  代表取締役　●●　●●　㊞ | 乙：  埼玉県●●市●●町●－●－●  株式会社●●●●●●●  代表取締役●●　●●　㊞ |